

▼1F 応接スペース  
オフィス内は土足厳禁  
毎朝社員全員で掃除を行ない、綺麗なオフィスを保っている



## いまどき オフィス探訪

1日の大半を過ごすオフィス。せっかくならば、働きやすい環境を整えたいところ。いまどきのオフィスを訪ね、これからのオフィス環境のあり方を探ります。

### 一軒家をリノベーション こだわりのリラックスオフィス



▲1F 休憩室  
くつろぎながら作業をしたり、お昼を食べたり、自由に利用。時にはワインパーティーを開催することも

1F 和室会議室 ▶  
和室の会議室は、珍しがられることもしばしば。落ち着いた空間での打ち合わせに



#### 株式会社シナップ

<http://sinap.jp/>

- 所在地 東京都渋谷区
- 業種 コミュニケーション戦略、インターネット戦略の策定支援、マーケティング、ブランディング支援
- 社員 14名



▲外観  
奥原宿の閑静な住宅街の一角に位置している  
1FとB1F部分をオフィスとして使用

外観は普通の一軒家。表札をよく見ると「SINAP」の文字。門を抜けて玄関に入ると、外観からはとても想像のつかないオフィス空間が広がっている。

1階は応接スペースとして、長机やテーブルなどが並べられ、そのほか会議室が3部屋に、キッチン、風呂、トイレを備える。

社員が業務を行なうワークスペースは地下1階にある。以前は倉庫として使用していたスペースで、1階を含めて、リノベーションして利用している。

#### リラックス空間が生む 横断的なコミュニケーション

株式会社シナップは、2004年の設立以来、様々なプロモーション施策とWebサイト・ソーシャルメディアを連動させた戦略的なマーケティング・ブランディング支援を行なっている。

東京・青山一丁目のオフィスにて、社員5名でスタート。その後、原宿にある約20㎡のハイツの1室に移転。増員に伴い、2008年、明治神宮前駅から徒歩8分ほどの閑静な住宅街にある一軒家の1階と地下1階に延べ約250㎡のユニークなオフィスを構えた。

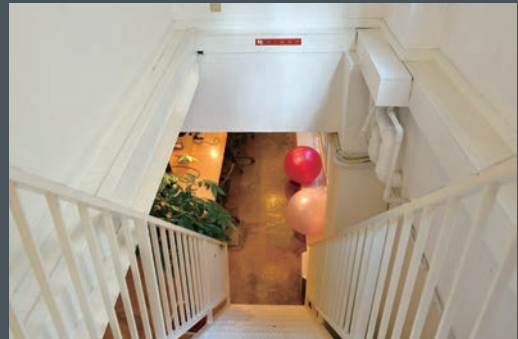


▲ B1F ワークスペース

1人分のスペースを広めに取った特注品の長机とアロンチェアで、快適に作業できる環境を整備。席を固定化しないフリーアドレス制を採用し、各自その日の気分や業務内容に沿って座る席を決めている。私物や PC は壁面のキャビネットにて管理

▼ B1F スタンディングテーブル

約2年前に導入した特注品。壁面にホワイトボードも設置し、ショート MTG などに活用している



▲ B1F への階段

階段を下りるとワークスペースが広がる。地下の床はコンクリートの打ちっばなしで、元は印刷会社の倉庫だった

「有名なオフィスデザイン会社に設計・工事をしてもらい、工事期間は2週間ほどでした。予算との折り合いがつかない部分は、社員全員で壁の穴を埋めたり、床にニスを塗ったりしました。机も、快適に作業ができるよう配慮し、1人当りの横幅やイスの可動域を広めに確保し、計算して特注したものです。入居後も増築したりレイアウトを変更したりと、試行錯誤を重ねてきました」

と、同社創業メンバーでデザイナーの小茅奈美さんは振り返る。

ワークスペースではフリーアドレス制を採用。毎日同じ席に座るのは原則禁止で、ディレクター、デザイナー、エンジニアなど職域の区別なくコミュニケーションを取りながら作業を行なう。

業務に集中しているとつい静かになってしまいが、音楽を流し、雑談もしやすい雰囲気をつくるよう気を配っている。

そこには、横断的なコミュニケーションを積極的に取ってもらうことで、プロジェクトメンバー以外からも有用な知見やアイデアを吸い上げたり、社員同士の交流を深めていきたい、というコミュニケーション設計の考えがある。●